

■ 出会い・ふれあい・学び合い ～みんなで育てる山田っ子～（山田小学校）

1 【活動の趣旨】

本校では、地元特産野菜や近くの漁港などの地域の良さ、地域の人とのつながりを活かして、山田の子どもたちを育てる活動に取り組んでいる。また、子どもと大人が学び合い・かかわり合い・喜び合い・認め合うことを積み重ねながら、学校と地域が連携し『地域協働合校事業』を進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○「湖魚を使ったメニューを考えよう」【4年生】

山田漁業協同組合の皆さんの協力のもと、琵琶湖にニゴロブナを放流する活動を続けているが、今年度は、漁師の皆さんが抱える課題から、多くの方が琵琶湖産の魚を食べる機会を増やすことを目的に、ホンモロコを使った新たなメニューの開発を行った。調理実習での試食や給食センターの方へのプレゼン等を通して、琵琶湖の魚や地域の漁業への関心が高まった。



【ニゴロブナの放流】

○アオバナたんけんたい【3年生】

草津市の市花である「アオバナ」についてもっと知りたいという子どもたちの声から、アオバナに詳しい方からのお話を聞くとともに、実際にアオバナを植えたり、アオバナ摘みを行ったりした。また、アオバナ染めやアオバナ粉のお菓子作りを通して、アオバナの魅力を十分に感じる事ができた。最後は、この魅力を多くの人に知ってもらえるよう紙芝居にまとめ、百貨店のアオバナの催事場に展示していただいた。



【アオバナ染め体験
（お守り作り）】

3 【実施に当たっての工夫】

活動内容をより多くの方に知ってもらうために、学校のホームページだけでなく、地域コーディネーターの協力のもと、まちづくり協議会のホームページ等にも載せてもらうようにしている。

4 【事業の成果】

校内掲示板の『地域協働合校コーナー』に数多くの活動写真を掲示することで、子どもたちが足を止め、自分たちの活動を振り返ったり、次の活動を楽しみにしたりする姿が見られた。また、歩いていける範囲に、漁港、ビニールハウスや農業センター、田畑などがあり、地域の方々の協力のもと、様々な体験を実施することができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

今後、学校運営協議会とともに、地域の様々な諸団体との連携をさらに深めることで、地域の抱える課題や願いに対して子ども達が考えたアイデアを発信・提案できる場づくりを検討していきたい。